

科目名	地学基礎	単位数	2単位	学年(コース)	2学年
使用教科書	高等学校改訂地学基礎（第一学習社）			授業形態	必修選択
副教材等	ニューステージ新地学図表（浜島書店）		ネオパルノート地学基礎（第一学習社）		

1 学習目標（科目のねらい）

<p>1. 日常生活や社会との関連を図りながら、宇宙の誕生から現在の地球に至るまでを時間的・空間的な広がりの中でとらえる。</p> <p>2. 地球や地球を取り巻く環境に対して目的意識をもって観察・実験を行い、地学的に探究する能力と態度を育てる。</p> <p>3. 地学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、地学的な見方や考え方を養う。</p>
---

2 指導計画（時期、単元、学習内容、配当時間、考査等）

月	授業計画と授業の内容	時間	月	授業計画と授業の内容	時間
4	第1章 宇宙における地球 第1節 宇宙の構成	6	10	第2節 地球環境と生物界の変遷(続き)	7
5	第2節 太陽 第3節 太陽系の中の地球	7	11	第4章 大気と海洋 第1節 地球の熱収支	7
6	第2章 活動する地球 第1節 地球の姿 第2節 火山活動と地震	7	12	第2節 大気と海洋の運動 第5章 地球の環境	7
			1	第1節 地球環境の科学	
7	第3章 移り変わる地球 第1節 地層や岩石と地質構造	6	2 3	第2節 日本の自然環境	10
8	第2節 地球環境と生物界の変遷	7			
9					

計64時間（55分授業）

3 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
地学に関心や探求心をもち、意図的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察・実験の基本操作を習得するとともに、その過程や結果を的確に記録・整理し、自然現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の現象等について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、定期考査・出席状況・課題提出等から総合的に評価します。			

4 担当者から一言

地学では想像力が重要。遠い昔や宇宙などについてイメージを描けるようにしましょう。
--